

おばま



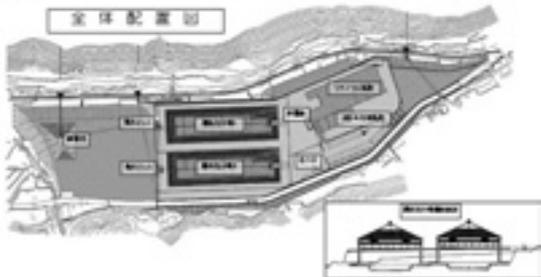
市議会だより



リサイクルプラザ等の施設整備事業



全体配置図



急ピッチで建設が行われている大型プロジェクト
(上) 公立小浜病院 高度医療施設整備事業 (大手町)
(左上) 小浜小学校建設事業 (駅前町)
(左下) リサイクルプラザ等施設整備事業 (深谷)

平成19年5月25日

No. **111**

編集・発行 小浜市議会広報委員会

主な内容

- 平成19年度当初予算を可決・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 3月定例会の結果・・・・・・・・・・・・・・・・ P2~P3
- 3月定例会の一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・ P4~P6
- 気になるところ 議員年金の話・・・・・・・・ P7
- よろしくお祈いします~第15期小浜市議会議員のご紹介~ P8

19年度一般会計予算額 166億8,474万5千円

(小浜市民一人あたり 約51万3,190円)

平成19年4月1日現在人口32,512人

※かつこ内は市民一人あたりの金額。十円未満の端数は調整してあります。

矢印の意味 (対前年度比) -5%~ -5~-2% ±2% +2~+5% +5%~	消 防 5億4,263万円 (16,690円)	農林水産 13億8,509万円 (42,600円)	総 務 17億2,006万円 (52,910円)	
	議 会 1億7,887万円 (5,500円)	商 工 9億2,650万円 (28,500円)	民 生 30億8,946万円 (95,030円)	
	公 債 17億7,346万円 (54,550円)	土 木 18億0,238万円 (55,440円)	衛 生 27億8,754万円 (85,740円)	
	参考：市税 38億3,508万円 (117,959円)	教 育 22億4,472万円 (69,040円)	労 働 2億2,399万円 (6,890円)	

平成19年第2回(3月)定例会において平成19年度小浜市一般会計予算を可決しました。

本年度は、一般会計では昨年度(対前年度比11・6%増)に引き続き対前年度比12・8%増と、2年連続の増額予算で過去最高の予算規模となりました。

これは、現在建設中の小浜小学校、リサイクルプラザならびに公立小浜病院などの大型プロジェクトに対する予算に加え、少子高齢化による扶助費等の増加、下水道事業に対する繰出金の伸長など支出の増大が見込まれているものです。

費目ごとの予算規模は次のとおりです。
(6ページにも関連記事掲載)

平成19年度当初予算を可決

3月定例会の結果について

《3月20日議決分》

- ・当初予算 12件(原案可決)
 - 一般会計補正予算(1件)
(19年度一般会計歳入歳出総額を16,684,745千円に)
 - 特別会計予算(9件)
 - 事業会計予算(2件)
- ・条 例 8件(原案可決)
(山川登美子記念館条例の制定についてほか)
- ・その他 6件
(嶺南広域行政組合規約の変更についてほか)

3月定例会日程

2月28日	本会議 会期決定
3月1日	補正予算議案等上程・質疑・採決 当初予算議案等上程 質疑・委員会付託
2日~7日	休 会
8日	一般質問
9日	一般質問
10日~19日	休 会(委員会審査)
20日	本会議 常任委員長報告・質疑・討論・採決

平成19年第2回定例会は、2月28日から3月20日までの21日間の会期で開催されました。今定例会では、平成18年度の各会計補正予算に関する議案のほか、平成19年度当初予算議案をはじめとする全39件の議案を議決し閉会いたしました。

議決の内容は次のとおりです。

陳 情 1件

【不採択】 1件

- 公共サービスの安易な民間開放に反対し、国民生活の「安全・安心」の確立を求める陳情

議 案 39件

内 訳

《2月28日議決分》

- ・補正予算 11件(原案可決)
 - 一般会計補正予算(1件)
 - 特別会計補正予算(9件)
 - 事業会計補正予算(1件)
- ・議員提案 2件(原案可決)
(小浜市議会委員会条例の一部改正についてならびに小浜市議会会議規則の一部改正について)

3月定例会常任委員会 主な審査の概要

《企画総務常任委員会》

上野 精一 委員長

委員会が審査した主な内容は次のとおりです。

審査中次の質疑がありました。

◎平成19年度小浜市各会計当初正予算について

Q 19年度から新型交付税が一

部導入されるようだが本市への影響はどうか？

A 基準財政需要額の約10%が新型交付税の対象で、面積、人口で簡単に積算することとなり、現段階の試算では本市は500万円の増加となっている。

Q 市税の滞納額が年々増がし

ているが、そのままにしておくのか？

A 公平性を保つためにも、預金調査、不動産や所得税還付金の差し押さえなどの財政調査を行い、換価できるものは差し押さえをして税収に反映していく。

Q 市民提案型まちづくり事業

の審査基準と審査から漏れた団体への説明はあったのか？

A 審査会を開き、その事業に対し社会貢献的事業であるか、

住民ニーズを満たしているか、目的どおりできるか、一定の地域に偏ることなく市民全体を対象としているか、事業効果が期待できるかなど、5項目を基準に審査している。選考から漏れた団体に対しては説明がなされなかったため、今後検討していく。

《まちづくり常任委員会》

井上 万治郎 委員長

委員会が審査した主な内容は次のとおりです。

審査中次の質疑がありました。

◎平成19年度小浜市各会計当初正予算について

Q いきいきまちづくりでは、

職員が地域に向きアドバイスザイをしているのか？

A この1年間は地域に入っていない。今後はできるだけ職員も地域に入って意見交換を行う。

意見 いきいきまちづくりにつ

いては職員が地域に向きくなど現状に対するアドバイスをすべきであり、魂の入ったいきいきまちづくりにして欲しい。

Q 食育推進計画の策定は食育基本法の中でどう定められているのか？全国の策定状況はどうか？

A 食育基本法では基本計画を策定しようと努めることとされている。全国的に策定に取り組んでいる折、福井県では鯖江市が昨年策定している。

Q 国の認定を受けるための基

本計画だが、つばき回廊の問題もあり認定されるのか？

A つばき回廊については、健康、福祉機能を中心として商業機能などを併せ持った複合施設として再生することが望ましいと考えている。

Q 小浜縦貫線の街路事業は順

調に進んでいるのか？

A 地元住民が協力的であり順調に進んでいる。19年度において契約はいただけと思っ

ているが、個人の再築計画もあることから次年度にずれこ

む場合もある。20年度に全体

工事の予算がついたとしても年度内に全ての工事完成は難しいと思う。

意見 企業用地造成については進出を予定する企業側と慎重な協議を十分に行い、企業立

地の用地造成の判断に誤りの無いように責任を持って進めて欲しい。また、なるべく早く覚書を交わし、市民に対して公表されたい。

《民生文教常任委員会》

風呂 繁昭 委員長

委員会が審査した主な内容は次のとおりです。

審査中次の質疑がありました。

◎平成19年度小浜市各会計当初正予算について

Q 公立小浜病院の整備負担金等について、今後の償還の見通しはどうか？

A 医療の診療報酬の改正、外来患者の減少、医薬分業などにより病院の健全経営がより重要となった。全般的に自治体病院はかなり厳しい財政状況にあり、構成市町も病院経営に對しかわりを持つことが大切。

Q ミニ救急救命制度ができて、

その赤字補てんは国、県、市で3分の1ずつ負担する仕組みがあるが、県はどう考えているのか？

A 12月に小浜病院事務局長等が救急救命部分について再度

県に負担を求めたが、関係市町で負担して欲しいと受け取れる回答があったと報告があった。

Q 国富小学校について耐震補強を兼ねた大規模改修の設計をするが、統廃合を含めた全体の計画もなく、予算化しているのはおかしくないのか？

A 学校施設は安全、安心が第一であり、災害時には避難施設になる。それに耐える施設とすべきであり、19年度予算の中ですべての第2次診断の結果が出るので、その結果を見て計画を立てていきたい。

意見 少子化対策、子育て支援

として国が新しく打ち出した子どもプラン事業について、従来の児童クラブの制度に加え、地域住民、保護者に対し、しっかりと制度の趣旨説明を行い、国が目指す市内全校での対応に向け、手抜かりのない対応をされたい。